

平成28年11月4日（金）
（公財）石川県埋蔵文化財センター
担当：調査部特定事業調査グループ
GL 川畑 誠
電話：076-229-4477 (6540)

加賀市弓波遺跡^{ゆみなみ}現地説明会開催の案内について

石川県教育委員会が公益財団法人石川県埋蔵文化財センターに委託して発掘調査を進めている北陸新幹線関連埋蔵文化財調査における、加賀市弓波遺跡(西部地区)の現地説明会を開催します。

1 所在地等

- (1) 調査地 加賀市弓波町地内
- (2) 関係機関 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- (3) 調査主体 石川県教育委員会
調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- (4) 調査原因 北陸新幹線建設工事
- (5) 調査期間 平成28年4月～平成29年1月（予定）
- (6) 調査面積 29,020㎡（予定）

2 現地説明会

- (1) 日時 平成28年11月27日（日）
午前11時及び午後2時から（小雨実施）
- (2) 場所 弓波遺跡（西部地区）発掘調査現場（別添図参照）
（9月に実施した現地説明会とは、別地点の報告となります。）
- (3) 対象 県民・考古学に関心のある方、事前申し込み不要
- (4) 内容 発掘調査の概要説明と出土品の公開
- (5) 調査成果 弓波遺跡は、江沼低地の北部に位置し、柴山潟に向かい南西から北東方向に流れる八日市川と南からの尾俣川が合流する地点に広がる、弥生時代から中世にかけての集落遺跡である。
前回の現地説明会では、調査地東部地区において、弥生時代終末期の集落に隣接する方形周溝墓、古墳時代中期から後期の古墳群、7世紀以降の集落などが確認されたことを報告した。

今回、調査地の西部地区において、弥生時代後期から古墳時代前期の
掘立柱建物ほったてばしらたてもものや平地建物へいちたてももの、井戸などを確認し、碧玉製の管玉未成品へきぎよくくだたまみせいひん（製作途中
の失敗品）や原石の破片げんせき、オパール製の勾玉未成品まがたまなどが出土したことから、
西部地区に弥生時代後期以降、古墳時代にかけて石製品を製作していた集落があ
ったことが明らかとなった。

周辺地域ではこれまで、北側約1kmに存在する片山津玉造遺跡かたやまづたまつくりや南東側約2
kmに存在する二子塚東田遺跡ふたごづかひがしだが代表的な古墳時代前期における石製品を製作す
る遺跡として知られてきたが、今回の弓波遺跡における石製品製作遺跡の発見か
ら、周辺地域における石製品生産の開始時期が、弥生時代後期に遡ることが判明
した。

また、南加賀地域における石製品製作遺跡と石材原産地（採取地）の関係や
石製品製作方法の復元などに新たな材料を提供するものと考えられる。

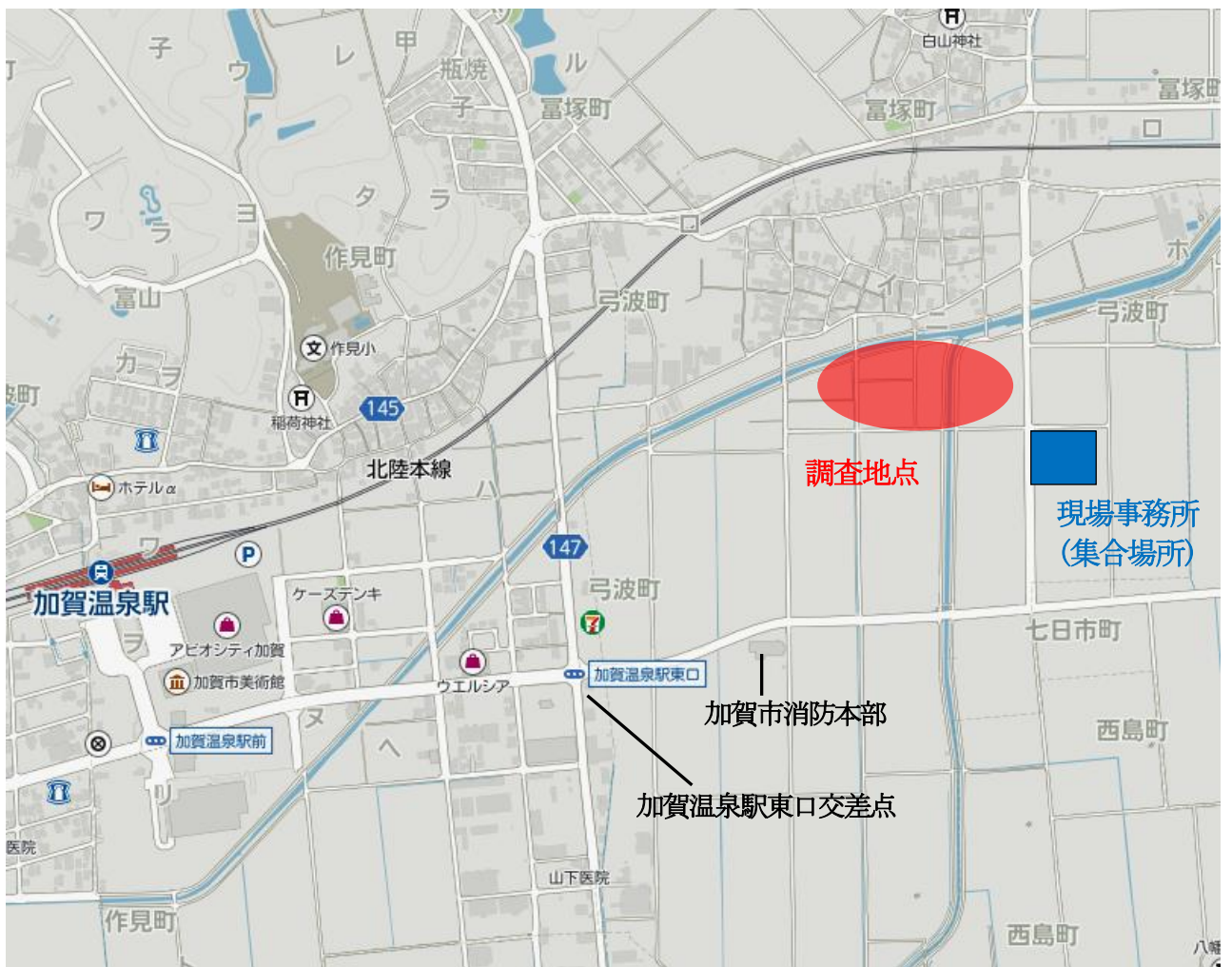
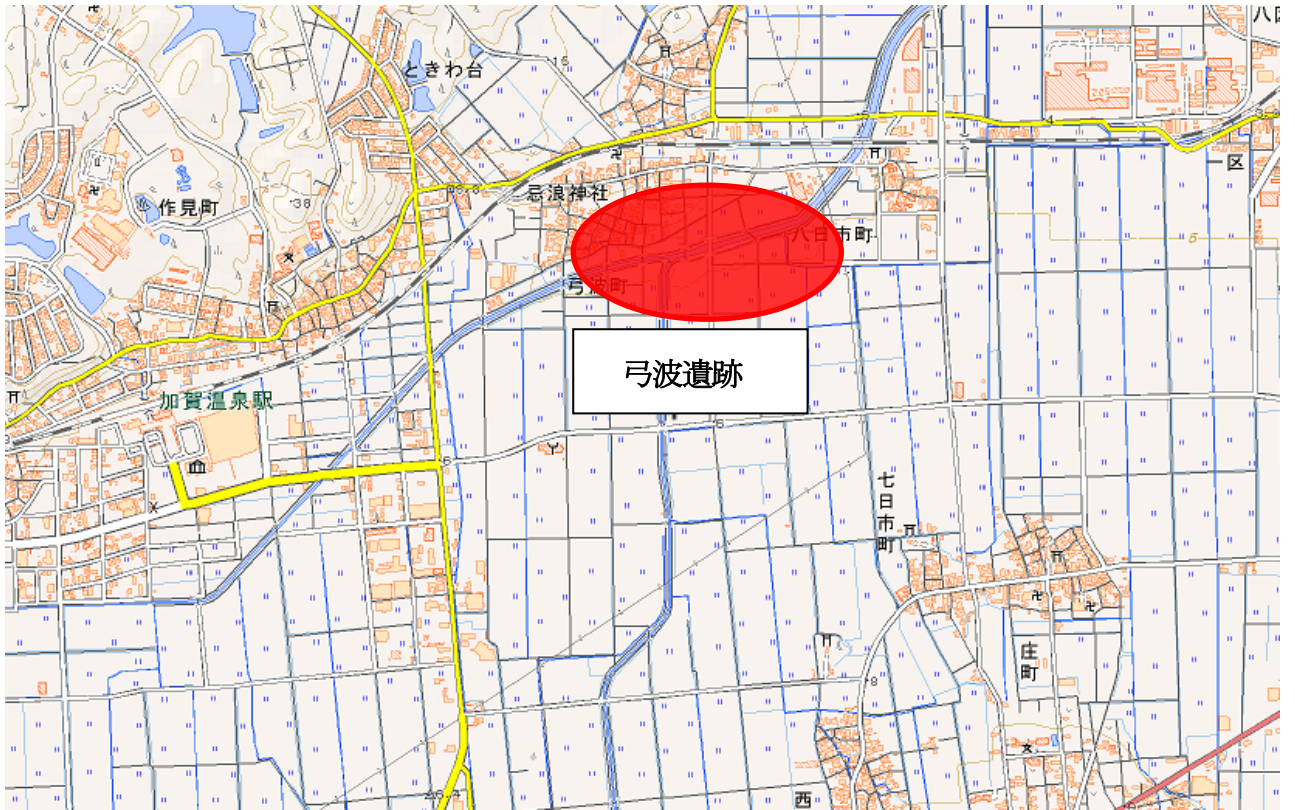
(6) 主 催 石川県教育委員会・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター

(7) 問合せ先 ○（公財）石川県埋蔵文化財センター 調査部 特定事業調査グループ

電話 076-229-4477（内線6540）

○石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ

電話 076-225-1842（内線5629）





弓波遺跡 調査地の遠景（南西から）



布掘建物と掘立柱建物柱穴群



1箇所からまとめて出土した碧玉の破片



出土した碧玉製管玉の未成品や原石の破片